



**STANDARD
TOKYO**

2023年7月20日

各位

会社名 株式会社プロルート丸光
代表者名 代表取締役社長 森本 裕文
(東証スタンダード市場・コード番号: 8256)
問合せ先 管理本部長 佃 真人
(TEL 06-6262-0303)

2023年3月期決算短信の開示が期末後50日を超えたことに関するお知らせ

当社は、本日、2023年3月期決算短信の開示を行いました。当該開示が決算期末後50日を超えた理由及び今後の決算開示について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 決算短信の開示が期末後50日を超えた理由

当社は、2023年4月3日付「雇用調整助成金支給決定取消及び返還通知書の受領に関するお知らせ」で公表のとおり、2020年4月から受給していた雇用調整助成金について返還を行うこととなりました。

本件につきまして、当社は既に、弁護士事務所により当社従業員へのアンケートやヒアリング等を行うなどの調査を実施いたしました。本件事案に関する事実関係の更なる調査及び原因の究明並びに再発防止策を提言いただくため、より中立的立場から再度調査が必要であると判断し、当社と利害関係を有しない外部の専門家から構成される第三者調査委員会を設置し、調査を進め、2023年7月14日に第三者調査委員会から調査報告書を受領いたしました。

これに伴い、過小計上となっていた給料の修正を行うため、2021年3月期及び2022年3月期の決算短信、2021年3月期第1四半期から2023年3月期第3四半期までの四半期決算短信についての決算訂正を行いました。

これにより、決算手続、会計監査人による監査手続等において相応の時間を要したため、2023年3月期決算短信の開示が期末後50日を超えることとなりました。

2. 今後の決算開示について

当社は、今回の決算短信の開示が遅延したことを厳粛に受け止め、再発防止に取り組んでまいります。また、今後の決算開示時期については、期末後45日を超えることのないよう、適切な情報開示に取り組んでまいります。

株主、投資家の皆様をはじめ関係者の皆様には、多大なご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

以上